

# 平成30年度 宝木中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

## 1 教育目標（目指す生徒像含む）

- (1) 基本目標 「人間尊重の教育を基盤に、知・徳・体の調和のとれた発達を目指し、心身共に健康で知性と創造性に富み、心情豊かでたくましく社会に生きる人間の育成」
- (2) 具体目標（具体的な生徒像）
- ① 気力・体力のあるたくましい生徒（たくましく）
  - ② 自ら学びよく考える生徒（さとく）
  - ③ 心豊かで礼儀正しい生徒（あかるく）
  - ④ がまん強く進んで働く生徒（いきいきと）

## 2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

学校は ○子どもたちにとって居心地のよい楽しい場所であること  
○教職員の「生きがい」や「やりがい」を感じる場所であること  
○保護者、地域の皆様から信頼される場所であること  
このように、信頼と心の触れ合いを基盤とした、豊かな人間関係に支えられた**ぬくもりと夢のある学校**づくりを推進する。

## 3 学校経営の方針（中期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 学習指導要領や宇都宮市学校教育スタンダード等の趣旨をふまえるとともに、生徒の実態や学校・地域の特色を生かした特色ある教育課程の編成・実施に努める。
- (2) 生徒の実態に応じた指導方法や指導体制の工夫・改善を図り、生徒一人一人の確かな学力の育成に努める。
- (3) 生徒理解を基盤として生徒指導の充実を図るとともに、生徒の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導や長期的な視点に立った特別支援教育、望ましい人間関係や豊かな人間性・社会性の育成に努める。
- (4) 道徳の時間の充実を図り、生徒一人一人の道徳的実践力を高めるとともに、読書活動や体験活動を一層推進し、生徒の内面に根ざした道徳性の育成に努める。
- (5) 家庭との連携を強化し、健康管理や体力づくり、食に関する指導の充実を図るなど、生徒が将来にわたって健康に生活していく基盤づくりに努める。
- (6) 生徒の発達の段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育、進路指導を推進し、社会的・職業的な自立に向け必要となる能力・態度の育成に努める。
- (7) 校内の事務の効率化や簡略化等を図り、生徒に向き合う時間の確保と教職員の負担軽減に努める。
- (8) 児童生徒の9年間の成長を見通した小中一貫教育を推進し、学校園で共通理解を図りながら、宝木地域学校園が目指す心豊かな生徒の育成に努める。
- (9) よき伝統や地域の特色、教職員の創意工夫を生かした特色ある学校づくりの推進に努める。
- (10) 積極的な情報提供など家庭・地域社会との連携を一層深めるとともに、魅力ある学校づくり地域協議会を効果的に活用し、生徒の地域行事への協力やボランティア活動を通して、地域とともにある学校づくりの推進に努める。

【宝木地域学校園教育ビジョン】

テーマ「いきいき宝木」心豊かな宝木っ子の育成を目指します。

他を思いやる心や規範意識を育み、基本的生活習慣や主体的に学ぶ態度を身に付けさせる指導の充実

## 4 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- 【学校運営】○生徒の学力向上を目指した教員の授業力向上並びに学業指導、キャリア教育の推進  
P D C A サイクルを生かした、校内の事務の効率化や簡略化の推進
- 【学習指導】教師が授業のねらいを明示するとともに、生徒が授業の最後に自らを振り返る授業の徹底  
○自主学習ノート等の活用による家庭学習の習慣化
- 【児童生徒指導】○生徒一人一人の自己肯定感や自己有用感を育て、よりよい人間関係を育む集団づくりの推進  
○S C ・関係機関との連携を図った教育相談体制の充実（不登校を生まない集団づくり）
- 【健康（体力・保健・食・安全）】危険予測、危機回避能力の育成を図る安全教育・防災教育の充実と交通安全指導の充実

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所を下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A 1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 生徒の肯定的回答85%以上	① 体育祭の「よさこいソーラン」や合唱コンクールの実施に向け心を一つにして主体的に練習する態度を育てる。 ② 会議の能率化や学校事務のスリム化を図り、教員が生徒と向き合う時間の確保に努める。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答は、89.6%で達成した。 【次年度の方針】 ・体育祭や文化祭の学校行事で、リーダーの育成を図り、生徒同士が主体的に活動する態度を育てる。 ・生徒会を中心としたあいさつ運動を活発化させる。
	A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答90%以上	① 生徒が自らの自尊感情を高めることができるよう、「認める、ほめる、励ます」など、一人一人への声掛け等を充実させる。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答は、95.3%で達成した。 【次年度の方針】 ・生徒一人一人が、自己肯定感や自己有用感を感じることができるよう、「認める、ほめる、励ます」等の声掛けを数多く実践する。
	A 3 生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答85%以上	① 地域学校園で、「挨拶と返事の励行」「素直な感謝や謝罪の表現」「相手の気持ちを考えた行動の実践」の定着について小中連携して指導し、生徒が主体的に「ルールやマナー」を守ることができるよう支援する。 ② ネットトラブルの防止教室を各学年で実施し、生徒へのきめ細かい指導の充実を図る。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答は、91.1%で達成した。 【次年度の方針】 ・地域学校園「生活のきまり」に基づき、「挨拶と返事の励行」「素直な感謝や謝罪の表現」「相手の気持ちを考えた行動の実践」を自ら行うことができるよう、小中連携して指導する。 ・ネットトラブル防止教室を、全体及び学年ごとに実施するとともに、保護者会でも毎回情報提供し、理解・協力を得るようにする。
	A 4 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答85%以上	① 授業で本時のねらいの提示と、振り返りの確実な実施に努める。 ② 小テストやワークのチェックを実施することで基礎的・基本的事項の確認を行い、学力の向上を図る。	A	【達成状況】 生徒の肯定回答は89.8%で達成した。 【次年度の方針】 ・授業で本時のねらいの提示と、生徒各自の振り返りを確実に実施する。 ・一人一授業の実施を徹底し、グループ毎に参観し意見交換会を行うなど方法を工夫して授業力の向上を図る。
	A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答90%以上	① 道徳科・学級活動の授業を中心に、いじめ根絶に向けた授業を年4回実施する。 ② 「学校いじめ防止基本方針」の改訂について研修を行い、教職員の意識を高める。 ③ 「いじめの調査」結果を共有・活用し、早期発見・早期解決を図る。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答は、94.5%で達成した。 【次年度の方針】 ・いじめ根絶に向けた授業を、道徳、学活の年間指導計画に位置付け、年4回実施する。 ・「いじめの調査」を年4回（5,9,12,2月）実施し、早期発見・早期対応に努める。 ・「学校いじめ防止基本方針」に基づいた研修を行い、教職員の意識を高める。

<p>A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 学校行事等の PDCA サイクルを活用し、本年度の反省をもとに、より充実した教育課程実施に生かす。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は、100%で達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・教育課程編成上の反省や課題を PDCA サイクルを生かしながら改善を図り、適切な実施につなげていく。</p>
<p>A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われている。</p> <p>【数値指標】 保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 「学校だより」「学年だより」をはじめとする各種だよりを定期的に発行する。</p> <p>② ホームページをやメール配信を充実する。</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答は、94.8%で達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・「学校だより」「学年だより」をはじめとする各種だよりを定期的に発行する。 ・ホームページを充実させ、必要なメールを発信する。</p>
<p>A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った学校づくりが推進されている。</p> <p>【数値指標】 保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 理科における博物館との連携授業、私立高校連携、茶道教室などを行う。</p> <p>② 地域行事での生徒ボランティアの募集や指導を継続し、地域社会に貢献できる生徒の育成を推進する。</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答は、89.2%で達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・理科における博物館との連携授業、高校との放課後の説明会、茶道教室、社会人に学ぶなどを行う。</p>
<p>A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。</p> <p>【数値指標】 保護者の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 清掃時の生徒の分担表を作成し各清掃場所に掲示し、意識化を図る。</p> <p>② 教室等・廊下等に必要な掲示物をタイムリーに掲示するとともに、破損した場合は速やかに修復する。</p> <p>③ 春と冬に花壇の整備を行い、年間を通して花のある環境を整える。</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答は、92.8%で達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・清掃時の清掃分担表を作成し、各清掃場所に掲示し、清掃への意識や責任感を高める。 ・教室や廊下の掲示物の内容を吟味し、タイムリーなものを掲示する。 ・春と冬に花壇の整備を行い、年間を通して花がある環境を整える。</p>
<p>A 10 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 数学や国語、書写を中心に、小学校の内容を復習として導入で扱うなど乗り入れ授業を実施し、小中の連携を図る。</p> <p>② 地域学校園各部会の取組を、各学校のホームページに掲載し、その成果を広く伝える。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は、76.5%で、目標値より13.5ポイント低い結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 ・地域学校園各部会の取り組みについて、部会報告及び地域学校園だよりに掲載し、全職員に配布するとともに地域学校園掲示板に掲載する。</p>
<p>A 11 多様な専門性を有する学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 75%以上</p>	<p>① 教育相談部会等でSCを生かして生徒への支援を行う。</p> <p>② 学校図書館司書と連携してブックトークや読書指導を行う。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は、52.9%で、目標値より22.1ポイント低い結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 ・学校図書館司書を活用し、市や県の図書館との連携を図り、学級活動や総合的な学習等における調べ学習で本の選定など司書からの助言を多く取り入れる。 ・学校業務嘱託員や機動班との連携を図り、学校内の環境整備の充実を図る。</p>

	<p>A12 教員は多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている。</p> <p>【数値指標】 教員の肯定的回答75%以上</p>	<p>① 教育相談部会・生徒指導部会等で情報交換をおこない、連携して支援を行う。</p> <p>② かがやきルームの指導報告書を回覧し、情報を共有する。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は、70.6%で、目標値より4.4ポイント低い結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 ・教育相談及び生徒指導上の問題解決のためのケース会議を重視し、組織的な行動を素早くできるようにする。 ・特別支援学級担当教員及び、SC、SCMとの情報交換を密にし、連携を円滑にする。</p>
	<p>B1 学校は、生徒の安全確保に努めている。</p> <p>【数値指標】 生徒・保護者の肯定的回答85%以上</p>	<p>① 避難訓練の機会を活かし、生徒の多様な危機管理能力を高める。</p> <p>② Jアラートや緊急地震速報などへの対応をマニュアル化し、共有する。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は、97.4%、保護者の肯定的回答は、91.4%で、達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・避難訓練の機会を活かし、生徒が自分の判断で避難態勢をとるシェイクアウト訓練も実施する。 ・自然災害等への対応を見直し、マニュアル化し共有する。</p>
<p>教育活動の状況</p> <p>生徒</p> <p>健康・体力</p>	<p>A13 生徒は、進んであいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 小中合同で行う「地域学校園あいさつ運動」を推進し、明るく活気のある学校づくりに努める。</p> <p>② 全授業における先言後礼の指導や、「茶道教室」における礼儀作法の学習を通して、心のこもったあいさつができる心を育てる。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は、94.0%で達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・生徒会主催の「あいさつ運動」や、「小中合同あいさつ運動」を通して、明るく元気にあいさつする習慣を身に付けさせる。 ・全授業、行事等における先言後礼や、「茶道教室」における礼儀作法の指導を通して、まごころを込めたあいさつができる心を育てる。</p>
	<p>A14 生徒は、正しい言葉づかいをしている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答85%以上</p>	<p>① すべての授業で、望ましい言葉遣いを指導し、習慣化を図る。</p> <p>② 生徒の言葉遣いについて、つかわせたい言葉やつかわせたくない言葉を教室等に掲示し、全校をあげて取り組む。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は、88.0%で達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・授業及び日常生活の全てを通して、望ましい言葉づかいを指導し、習慣化を図る。 ・「つかいたい言葉」「つかわせたくない言葉」を生徒自ら考えさせ、意識の高まりを促す。</p>
	<p>A15 生徒は、進んで運動する習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 宇都宮元気っ子チャレンジを活用して運動への意識向上を図る。</p> <p>② 外遊び奨励ポスター作成を継続するとともに各学級に新しいバレーボールを支給する。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は、86.2%を達成し、前年度(86.6%)よりも1.2ポイント、目標値よりも6.2ポイント高かった。</p> <p>【次年度の方針】 ・「元気っ子生活習慣」「元気っ子チャレンジ」等を活用し、健康・体力増進の重要性を意識づける。 ・新体カテストを有効活用し、PDCAサイクルのもと運動への興味・関心の向上への指導・助言を行う。</p>
	<p>A16 生徒は、栄養のバランスを考えて食事をしている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答85%以上</p>	<p>① 生徒会給食委員会の給食コンクールの残量調査結果を活用し、生徒が栄養のバランスを考えて食べることへの関心を喚起する。</p> <p>② 「食育だより」に給食の残量を掲載し、家庭への啓発活動を行う。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は、84.4%で、目標値に0.6ポイント達しなかった。</p> <p>【次年度の方針】 ・給食残量調査の結果を活用し、栄養バランスと健康との関わりについての関心を喚起する。 ・学校栄養職員と連携し、生徒会の給食委員会の活動を通して、生徒の衛生検査と栄養バランスを考えて食べる指導の充実を図る。</p>

学 習 等	<p>A17 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答85%以上</p>	<p>① 自主学习ノートを使った家庭学習を習慣づける。</p> <p>② グループ活動や話し合い活動などアクティブラーニングを積極的に取り入れ、生徒が進んで学習に取り組めるような学習活動の工夫をする。</p> <p>③ 特に英語科と数学科では習熟度指導やTT等、個に応じた指導の充実に努める。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は、88.3%で達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ活動や話し合い活動などを積極的に取り入れ、生徒が進んで学習に取り組めるような学習活動の工夫をする。</li> <li>・特に英語科と数学科では習熟度指導やTT等、個に応じた指導の充実に努める。</li> </ul>
	<p>A18 生徒は、落ち着いて学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答85%以上</p>	<p>① 学びのルール・マナーを徹底させるとともに、先言後礼を指導し、落ち着いた態度で授業の始めと終わりのあいさつを行わせる。</p> <p>② 本時のねらいの提示と生徒による学びの振り返りを毎時間確実に行う。</p> <p>③ 年度当初にノートづくりの約束ごとを決め、落ち着いて板書がとれるように継続して指導し、真面目に授業に取り組ませる。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は、87.5%で達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いた態度で授業の始めと終わりのあいさつを行わせ、学びのルール・マナーを徹底させる。</li> <li>・宇都宮市教育委員会の「授業力向上プロジェクト」や「授業改善チェックリスト」、「とちぎの子ども『確かな学力』向上のために」などのリーフレットを活用して周知し、授業力の向上を図る。</li> <li>・構造的な板書ができるよう、年度当初にノートづくりの約束を決め、本時のねらいと生徒による学びの振り返りの活用を継続して指導する。</li> </ul>
	<p>A19 生徒は、地域でのボランティア活動や行事に参加している。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答70%以上</p>	<p>① 地区体育祭や宝木まつりなどの地域活動に進んで参加するよう、教室にチラシを掲示したり、その価値を教えたりして生徒に働きかける。</p> <p>② 参加の様子等を学校たより、HP等を活用して情報を発信する。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は、88.2%で達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区体育祭や宝木まつりなどの地域活動に進んで参加するよう、教室にチラシを掲示したり、その価値を教えたりして生徒に働きかける。</li> <li>・活動の様子等を学校たより、HP等を活用して情報を発信する。</li> </ul>
本 校 の 特 色 ・ 課 題 等	<p>B2 生徒は、家庭学習に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 家庭学習の手引き等を年度当初のオリエンテーションで学級担任から説明し、今後も継続して自主学习ノートの指導を行う。</p> <p>② キャリア教育を推進するとともに、全校集会、学級懇談や個人懇談等で生徒、保護者への家庭学習への啓発をより一層推進する。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は、90.6%を達成した。 数値目標を大幅に上回っている。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も家庭学習の手引き等を年度当初のオリエンテーションで学級担任から説明する。</li> <li>・自主学习ノートの形式を工夫し、ねらいを持って取り組めるように継続して指導する。</li> <li>・各学年でのキャリア教育推進が学習への意欲を押し上げている現状から、継続してキャリア教育を推進し、学年集会や学級懇談など様々な機会に家庭学習を啓発していく。</li> </ul>

### 〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

市全体と本校を比較してみると、生徒の肯定的回答は多くの質問において市全体を上回っている。また、昨年度の本校の結果と比較しても肯定的回答の割合がほとんどの項目で上回っている。このことから、生徒が明るく落ち着いて、充実した生活が深まってきた。これは教職員の資質向上を図るために、教科研修・道徳教育の研修・生徒理解のための研修等や本評価書などのPDCAが機能していると思われる。今後は、不登校対策や特別支援教育等の充実を図るとともに、さらに学力向上に向けて研究・工夫を重ねていく。

「児童（生徒）は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している。」の項目が昨年と比べ肯定的回答の割合が教職員・生徒両方で上昇している。また「児童（生徒）は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している。」・「児童（生徒）は、授業中に進んで話し合い、分かりやすく発表するなど、積極的に学習している。」の項目は昨年と比べ肯定的回答の割合が教職員・保護者・生徒の三者で上昇している。これは、教職員が分かる授業の展開や生活リズムの重要性について丁寧に指導し、生徒がその大切さを実感し学習・生活していること。保護者も生徒の様子から落ち着いて生活していることを感じていることから考えられる。特に学習に関しては「生徒は、家庭学習に意欲的に取り組んでいる」の生徒の肯定的回答の割合が90.6%と家庭学習の重要性を理解し、実践していることが分かる。

「学校は、清掃が行き届き、荷物や備品などが整理整頓され、学習しやすい環境である。」・「児童（生徒）は、好き嫌いなく給食を食べている。」の項目が昨年に比べ教職員の肯定的回答の割合が上昇している。これは教職員が、生徒が落ち着いて生活し、なにごとにも前向きに活動していることを実感していることと思われる。

「学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる。」の項目が昨年に比べ保護者の肯定的回答の割合が上昇している。

「児童（生徒）は、時と場に応じた言葉づかいをしている。」の項目に関しては昨年に比べ肯定的回答の割合が、教職員は上昇しているが、保護者・生徒は減少している。これは評価の場面の違いが表れていると考えられる。しかし、あいさつは、生涯にわたり人と人をつなぐ大切なことばなので、時と場に応じたことばづかいができるよう今後とも指導していく。

## 6 学校関係者評価

・「家庭学習への取り組み」に関して、昨年より改善されていて生徒の肯定的割合が高くなっている。家庭学習の手引きや自主学習ノートのチェックの効果が表れていると思われる。

・「いじめの指導の取り組み」に関して、昨年に比べ保護者の肯定的割合が高くなっている。学校の取り組みが保護者へも伝わっている。

・「小中一貫教育・地域学校園の取り組み」に関して、生徒の肯定的割合は高い。小中一貫の取り組みをよく行っていると思うが、教職員の肯定的割合が低い。学校としての取り組みを明確に示し、評価の観点を共有する必要があると思われる。

・「安全確保の取り組み」に関して、生徒・保護者の肯定的割合が高い。学校では火災・地震、自然災害、不審者に関する避難訓練をローテーションを組んで行っている。今後不審者に対応する職員の訓練も行うとよい。

## 7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

本校が重点的に取り組んでいる、家庭学習の習慣化、自己肯定感・自己有用感を高める活動に関しては、少しずつではあるが成果が表れてきている。これは、教職員の資質向上に向けて校内研修等の充実を図っていること。生徒一人一人と話し合う時間の確保。日々の活動や学校行事の充実を図っていることなどが考えられる。今後とも積極的に取り組んでいきたい。また、学校の活動を発展させていくためには、より一層「家庭・地域」との連携が必要になっている。今後も、広報活動を充実させ情報を発信し、連携を強めていきたいと考えている。

○地域学校園での共通の指導が明確になっているので、今後とも小中でよく連携し9年間を見据えた指導を行い、生徒に夢や希望を持たせ、学習や運動に積極的に取り組む生徒を育てていきたい。